

第5学年 社会科学学習指導案

1 小単元 「寒い土地の暮らし—北海道—」

2 小単元について

本単元は、学習指導要領第5学年の内容(1)「我が国の国土の様子と国民生活について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。」を受けて設定した。次の事項とは主に以下の2点である。①人々は自然環境に適応して生活していることを理解すること。②地形や気候などに着目して、国土の自然などの様子や自然条件から見て特色ある地域の人々の生活を捉え、国土の自然環境の特色やそれらと国民生活との関連を考え、表現することである。本単元の学習を通して、北海道の自然環境に着目し、自然条件に適応した生活の工夫や産業の発展について理解を深めることをねらいとしている。

前小単元では、「国土の気候の特色」の単元において、日本の気候の特徴である春夏秋冬といった季節の変化や、地形や季節風などの影響によって地域差が大きいこと、梅雨の時期に発生する大雨などが人々の暮らしに深く関係していることについて学習した。本単元では、千葉県とは気候の特色が大きく異なる北海道の人々の暮らしに焦点を当てる。北海道の人々は、冬の寒さや雪から暮らしを守る工夫をすると共に、夏の涼しさや雪を生かした観光や広大な土地を使った農業などがさかんで、北海道の自然条件を生かした暮らしをしていることを学習する。その際、地理的・気候的な環境が異なる自分たちの住んでいる千葉県との比較を行うことで、社会的事象に対して多面的・多角的な見方・考え方を育てていきたい。

また、本単元や「米づくりのさかんな地域」(農業)、「水産業のさかんな地域」(漁業)、「自動車をつくる工業」(工業)などの学習を通して、日本の国土の地理的環境の特色と産業の関係、それらと国民生活との関連を理解し、我が国の国土に対する愛情を養うことを目指したい。

本単元では、地図帳や雨温図など様々な資料を読み取る機会を多くもてるようにする。そして、資料を読み取る際には、児童の思考の流れに合わせて資料を提示したり、1つ1つ確認しながら読み取ったりしていく。それにより、児童が必要感をもって資料を見たり、資料を正しく読み取れるようになったりするのではないかと考える。また、資料を深く読み取ることで北海道の地理的特徴に気付けるようにする。資料からでは読み取れない部分については、ゲストティーチャーに話をしてもらうことで、生活する大変さを実感できるようにする。それにより、「北海道」に住んでいる人々の工夫や努力に目を向けて、考えられるよう指導を行っていきたい。さらに、既習の学習内容やこれまでの社会科の学習で得た知識がうまく結びつけられるように壁面に学習してきたことを掲示するなどして、本単元の学習を行っていきたい。資料の読み取り場面では、その資料は、何を表している資料なのかなどの根本的な部分から、資料のどの部分に注目すれば良いのかなどの発問により、資料を読み取る力を高めていきたい。また、授業ごとに大切なキーワードを残しておき、単元の終末で学習をふり返る際、自分の言葉で学習のまとめが書けるよう、児童の表現力を高めていきたい。社会科の授業が児童にとってより楽しい教科と思えるように指導を行っていきたい。

3 知識の構造図

寒い土地の暮らし

中心概念
(概念的知識)

北海道の人々は、冬の寒さや雪から暮らしを守る工夫をするとともに、夏の涼しさや雪を生かした観光や広大な土地を使った農業などがさかんで、北海道の自然条件を生かした暮らしをしている。⑥

まとめる

社会的事象
(具体的知識)

北海道は、冬は雪が多く寒い日が長く続き、夏は涼しい気候であり、自然が多く残されている。人々は冬の厳しい寒さに備え、家のつくりなどを工夫してくらしている。
①・②・③

雪の多い札幌市では、除雪を行うなど雪を克服したり、雪を生かして観光を営んだりしている。
③・④

十勝地方では、広大な土地や夏でも涼しい気候を生かして農業や酪農を行っている。
⑤

北海道には、昔から先住民族のアイヌの人々がいて、独自の文化をつくってきた。
⑤

用語・語句

- ・札幌市の気温と降水量
- ・スキー学習
- ・三角屋根の家と無落雪の家
- ・断熱材

- ・雪対策
- ・雪たい積場
- ・ゆう雪施設
- ・雪まつり
- ・除雪

- ・十勝平野
- ・輪作
- ・酪農
- ・米づくり

- ・アイヌ文化
- ・先住民族

問題解決的な
学習の過程

→
つかむ

→
調べる

4 単元の目標

我が国の国土の様子について、国土の気候に着目して、地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、まとめることで寒い土地の自然などの様子や寒い土地の人々の生活を捉え、国土の自然環境の特色やそれらと国民生活との関連を考え、表現することを通して、我が国の国土の気候の概要や、人々は自然環境に適応して生活していることを理解できるようにすると共に、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。

5 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①国土の気候などについて地図帳や地球儀、各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、国土の自然などの様子や寒い土地の人々の生活を理解している。	①国土の気候などに着目して、問いを見だし、国土の自然などの様子や寒い土地の人々の生活について考え表現している。	①寒い土地の暮らしについて、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。
②調べたことを図表や文などにまとめ、寒い土地の人々が自然環境に適応して生活していることを理解している。	②我が国の位置や気候の側面から、我が国の国土の自然環境の特色を考えたり、寒い土地の自然条件と人々の生活や産業を関連付けて考えたりし、適切に表現している。	

6 単元の指導計画（6時間扱い）

単元	時	主な学習活動と内容	評価規準と評価方法
学習問題をつかむ	1	1 資料1「地域ブランド調査 2024都道府県魅力度ランキング」から、千葉県と北海道の順位を予想し、北海道が1位の理由を話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・千葉県は、楽しいところがあるから上位ではないか。 ・北海道は、ベスト3に入りそうだな。 ・北海道は、雪で遊べるから人気があるのではないか。 ・牛乳や魚など美味しい食べ物があるから。 	
	本時	2 本時のめあての確認をする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">み力ある北海道について調べて、大きな学習問題を作ろう。</div>	
		3 北海道の特産品や地理的な特徴を地図帳で確認する。 ①北海道の特産品や場所を確認する。【北海道地図】 <ul style="list-style-type: none"> ・ジャガイモやトウモロコシなど野菜がたくさん取れているよ。 ・牛や馬など酪農が盛んに行われているよ。 ・千葉県と比べて、山地が多いよ。 ・酪農が盛んだから、牧草地が広がっているんだね。 ②北海道の位置を確認する。【日本地図・世界地図】 <ul style="list-style-type: none"> ・日本で一番北にある。千葉県よりもかなり北にあるね。 ・日本で一番大きい。千葉県の10倍以上の面積があるね。 ・さらに北にはロシアがあるよ。とても寒そうだね。 	

	<p>4 資料2「札幌市(北海道)の雨温図」と資料3千葉市(千葉県)の雨温図」を比較して、札幌市(北海道)の気候の特徴を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・千葉市と比べて、平均気温が7℃も低いんだね。 ・冬の平均気温は、0℃より低くなるんだね。 ・最高気温が30℃を超えていない。 ・千葉市と比べて、暑い時期の降水量が少ない。 ・寒い時期は降水量が多いね。 <p>5 【ゲストティーチャー：教師】から小学生の頃の話聞き、北海道での生活のイメージを広げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冬の体育の授業では、スキーやスケートをするんだね。 ・冬は荷物を運ぶときにそりを使っていたね。 ・雪が降った日の朝は、1時間早く起きて準備しなくてはいけないんだね。 ・早ければ10月から雪が降るので、自転車には乗れなくなるんだね。運動場でも遊べなくなってしまうんだね。 <p>6 札幌市と千葉市の人口を比較する。 (千葉市：約98万人 札幌市：約197万人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活するのが大変だから、人口は多くないのではないか。 ・約2倍も札幌市の方が多い。 ・人がたくさんいるのは、何か理由があるはず。 <p>7 資料4「降雪量と人口の関係(資料4)を見て、気が付いたことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・札幌市は積雪量が多いのに、人口がとても多いね。 ・雪がたくさんで大変そう。 ・たくさんの雪を何か工夫をして生活をしているはずだ。 <p>8 大きな学習問題を考える。</p> <div data-bbox="272 1279 1107 1379" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>千葉県と比べて、寒い北海道の人々は、どのような工夫をしているのだろうか。</p> </div>	<p>◆雨温図をもとにして、札幌の気候の特徴を考えている。 (ノート記述・発言) 【思判表】</p> <p>◆予想をもとに単元の学習問題を考えようとしている。(ノート記述・発言)【態度】</p>
2	<div data-bbox="272 1435 1107 1536" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>北海道の人々の生活の様子などを予想し、 学習計画を立てよう。</p> </div> <p>【教科書 p56-57】</p> <p>①北海道の生活や産業などの写真や地図帳に書かれている事柄から予想を考えて、発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たくさんする雪を利用して、雪まつりを行っている。 ・涼しい気候を利用して、家畜の飼育を行っている。 ・北海道の周りは海に囲まれているので、漁業が盛んに行われている。 <p>②予想をもとに、学習計画を作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北海道の人々は、どのようなくらしをしているのだろうか。 ・北海道の人々は、雪とどのように付き合っているのだろうか。 ・北海道の気候を生かして、どのような産業を行っているのだろうか。 	<p>【態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北海道の人々、生活についての予想や学習計画を立てようとしている。 <p>(ノート記述・発言)</p>

調 べ る	3	北海道の人々は、どのようなくらしをしているのだろうか。	【教科書 p56-57】 ①北海道の家の写真やイラストを見て、北海道の人々の生活の工夫を考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・たくさんの断熱材が使われている。 ・二重窓が使われている。 ・雪が落ちやすいように、屋根のかたむきが急になっている。 ・石油タンクが備え付けられている。
		北海道の人々は、室内で暖かく暮らせるように、二重窓などを活用して、寒い空気が室内入ってこないように工夫している。	
		②雪は北海道の人々にとって、どういう存在なのかを考える。 (次回の授業への布石) <ul style="list-style-type: none"> ○雪が降って、スキー場が使えて、ウインタースポーツが楽しめる。 ○雪で遊べて、楽しそう。 ▲雪下ろしが大変そう。 ▲雪で自転車が乗れずに、歩かないといけないから大変そう。 	
	4	北海道の人々は、雪とどのように付き合っているのだろうか。	【教科書 p58-59】 ①スキー場、「さっぽろ雪まつり」の写真から、雪との向き合い方を考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・たくさん降った雪でイベントを行っている。 ・スキー場の雪として利用して、観光客や道民がウインタースポーツを楽しんでいる。 ②札幌市の人々の話から雪との付き合い方を考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・生活に影響しないように対策に力を入れている。 ・1日除雪車が約1000台で除雪を行っている。 ・雪たい積場に限りがあるため、ゆう雪施設を整備している。 ・冬の観光客が少ないため、雪まつりを行い、観光客の集客を行っている。 ・捨てられる雪を利用したのがお祭りの始まりである。
		除雪やゆう雪によって、生活への影響が出ないように、人々の生活が守られている。また、雪を活用して、イベントやウインタースポーツが行えるようにしている。	
	5	北海道の気候を生かして、どのような産業を行っているのだろうか。	【教科書 p60-62】

【知技】

・北海道の家の写真などの資料をもとにして、人々の生活の工夫を理解している。
 (ノート記述・発言)

【知技】

・教科書に出てくる人の話をもとにして、雪の利用法を理解している。
 (ノート記述・発言)

	<p>①北海道で行われている産業を教科書や地図帳などで調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業(じゃがいも、とうもろこし、あずき、稲作、など) ・酪農(乳牛 牛乳、乳製品への加工) ・漁業(さけ類、すけそうだら、かに類、など) <p>②北海道でなぜ、農業や酪農が盛んなのかを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏が涼しい。 ・広い土地があるから。 ・平らな土地が多いから。 ・豊かな自然環境があるので、きれいな水があるから。 ・海に囲まれているため、水産資源が豊富だから。 <div data-bbox="288 566 1106 689" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>北海道には、広く平らな土地が多くあったり、夏が涼しかったり自然環境が恵まれていることから様々な産業が盛んである。</p> </div> <p>③北海道の文化(アイヌの文化)は、どのようなものがあるのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民族のおどりがあある。 ・自然の恵みに感謝しながら、文化を大切にしている。 ・アイヌ語がもとになった地名がある。 	<p>【知技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既習である北海道の気候、地形的な条件をもとにして、農業や酪農が盛んな理由を理解している。 <p>(ノート記述・発言)</p>
<p>まとめる</p>	<p>6</p> <div data-bbox="288 976 1106 1077" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>学習したことをもとに、北海道の推しポイントブックを作ろう。</p> </div> <p>【教科書 p 63】</p> <p>○北海道の推しポイントをガイドブックにまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊かな自然環境を生かした農業をアピールしたい。 ・雪を生かした観光資源をアピールしたい。 ・アイヌの文化をアピールしたい。 <div data-bbox="288 1285 1106 1491" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【単元のまとめ】</p> <p>北海道の人々は、冬の寒さや雪から暮らしを守る工夫をするとともに、夏の涼しさや雪を生かした観光や広大な土地を使った農業などがさかんで、北海道の自然条件を生かしたくらしをしている。</p> </div>	<p>【思判表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今までの学習したことを生かして、北海道の紹介したいことを書き表している。

7 市教研社会科研究主題解明のための方策

新たな社会の担い手として生きる力を育む社会科学学習

～児童生徒が社会的な見方・考え方を働かせる問題解決的な学習を通して～

<本年度主題解明のための方策>

研究内容 1 問題解決的な学習につながる教材・単元構成の工夫

研究内容 2 問題解決的な学習につながる指導法の工夫

本単元では、研究主題の中から次の点に留意して指導及び評価に取り組んでいきたい。

研究内容 1 問題解決的な学習につながる教材・単元構成の工夫

○単元構成の工夫

前単元で「低い土地のくらしー岐阜県海津市ー」の学習を行った。前単元は、①写真や資料をもとに学習問題を作る。②学習問題について予想する。③輪中に住む人々のくらしを守るための取り組みを調べる。④低地の土地で行われている産業を調べる。⑤豊かな水の活用法を調べつつ、今までの学習したことをまとめる。という構成で学習を行った。「つかむ」段階で土地の特徴を捉え、「調べる」段階で土地のよさを生かしたり、課題に適応したりするための人々の工夫や努力について学んだ。この単元構成は、本単元でも同様に活用できるのではないかと考える。「つかむ」段階で気候の特徴を捉えることで、児童は、既習の流れを振り返り、何を調べればよいのか見通しをもって計画を立てることができる。前単元の学習の足跡を掲示し、児童が既習の学習内容やこれまでの社会科の学習で得た知識を結びつけながら見通しをもって学習を進めることで、深い学びにつなげることができる。と考える。

○児童に具体的なイメージをもたせるためのゲストティーチャーの活用

本単元の題材である「北海道」は、児童にとって興味があって行ってみたい土地である。しかしながら、知っている情報は、雪が降ることや冬が寒いといった表面的な情報である。そこで本時では、資料からは読み取れない部分について、ゲストティーチャーの話を聞く活動を取り入れていく。「北海道」出身であるゲストティーチャーの話を聞くことによって、自分たちのまだ知らない、イメージすることができていない「北海道」について知り、生活する大変さを実感できるようにする。それにより、「北海道」に住んでいる人々の工夫や努力に目を向けて、考えられるよう指導を行ってきたい。

研究内容 2 問題解決的な学習につながる指導法の工夫

○児童の思考の流れに合わせた資料提示の工夫・教師と資料を読み取る時間の確保

本単元の1時間目(本時)では、雨温図の読み取りを行う。雨温図は、降水量と気温を一つのグラフ上で重ねたものである。児童にとっては、二つの情報が混在し、読み取りにくい資料ではないかと考える。そこで、資料を読み取る際には、児童の思考の流れに合わせて資料を提示したり、教師と一緒に一つ一つ確認しながら読み取ったりしていく。それにより、児童が必要感をもって資料を見たり、資料を正しく読み取れるようになったりするのではないかと考える。資料を読み取る際の視点を学ぶことで、少しずつ児童の資料を読み取る力を高めていきたい。

○地理的特徴を捉えるための地図帳の活用

本小単元は、千葉県から離れた「北海道」を取り扱う。地理感覚をつかめず学習内容を身近に感じづらいことが予想される。そこで、地図帳で調べる時間を設けることで、千葉県から離れた「北海道」であっても、北海道内の農作物や地理的な広がりを理解しやすくなる。と考える。また、本時においては、地図帳で調べる時間を二段階にわけて行う。第一段階では、「北海道」の産業や観光に目を向けさせる。第二段階では、「北海道」と千葉県との地理的な比較を行う。このように段階的に、地図帳を使って調べることによって、苦手な子供にとって、調べやすくなるのではないかと考える。

8 本時の指導(1/6)

① 目標

雨温図や地図などの資料をもとに、寒い気候の北海道と自分たちの住んでいる千葉県を比較したり、予想をもとに単元の学習問題を考えようとしていたりしている。(学びに向かう力、人間性等)

② 展開

時配	学習活動と内容	○教師の指導と支援 ◆評価
5	1 資料1「地域ブランド調査 2024都道府県魅力度ランキング」から、千葉県と北海道の順位を予想し、北海道が1位の理由を話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・千葉県は、楽しい所があるから上位ではないか。 ・北海道は、ベスト3に入りそうだな。 ・北海道は、雪で遊べるから人気があるのではないか。 ・牛乳や魚など美味しい食べ物があるから。 	○全ての都道府県を隠し、千葉県や北海道は何位なのかを考える。 ○北海道が1位の理由を予想する。
5	2 本時のめあての確認をする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">み力ある北海道について調べて、大きな学習問題を作ろう。</div>	
5	3 北海道の特産品や地理的な特徴を地図帳で確認する。 ①北海道の特産物や場所を確認する。【北海道地図】 <ul style="list-style-type: none"> ・ジャガイモやトウモロコシなど野菜がたくさん取れているよ。 ・牛や馬など酪農が盛んに行われているよ。 ・千葉県と比べて、山地が多いよ。 ・酪農が盛んだから、牧草地が広がっているんだね。 ②北海道の位置を確認する。【日本地図・世界地図】 <ul style="list-style-type: none"> ・日本で一番北にある。千葉県よりもかなり北にあるね。 ・日本で一番大きい。千葉県の10倍以上の面積があるね。 ・さらに北にはロシアがあるよ。とても寒そうだね。 	○地図帳を児童に開くように促し、「どのページがよさそう」などとやり取りを行いながら、進める。 ○場所の確認は、北海道がアップの地図、比較の際は、日本が全ての地図で探せるように、声掛けなどを行う。
5	4 資料2「札幌市(北海道)の雨温図」と資料3千葉市(千葉県)の雨温図」を比較して、札幌市(北海道)の気候の特徴を発表する。 <ul style="list-style-type: none"> ・千葉市と比べて、平均気温が7℃も低いんだね。 ・冬の平均気温は、0℃より低くなるんだね。 ・最高気温が30℃を超えていない。 ・千葉市と比べて、暑い時期の降水量が少ない。 ・寒い時期は降水量が多いね。 	○札幌市(北海道)の雨温図と千葉市(千葉県)の雨温図を示し、比較し、特徴を考えさせる。 ◆雨温図をもとにして、札幌の気候の特徴を考えている。(ノート記述・発言) 【思判表】

10	<p>5 【ゲストティーチャー：教師】から小学生の頃の話聞き、北海道での生活のイメージを広げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冬の体育の授業では、スキーやスケートをするんだね。 ・冬は荷物を運ぶときにそりを使っていたね。 ・雪が降った日の朝は、1時間早く起きて準備しなくてはいけないんだね。 ・早ければ10月から雪が降るので、自転車に乗れなくなるんだね。運動場でも遊べなくなってしまいうんだね。 	○児童の知らない北海道の話聞き、これからの学習への見通しをもつ。
5	<p>6 札幌市と千葉市の人口を比較する。 (千葉市：約98万人 札幌市：約197万人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活するのが大変だから、人口は多くないのではないか。 ・約2倍も札幌市の方が多い。 ・人がたくさんいるのは、何か理由があるはず。 	○千葉市の人口を提示して、千葉市より人口が多いか、少ないかを予想させる。
5	<p>7 資料4「降雪量と人口の関係（資料4）を見て、気が付いたことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・札幌市は積雪量が多いのに、人口がとても多いね。 ・雪がたくさんで大変そう。 ・たくさんの雪を何か工夫をして生活をしているはずだ。 	○積雪量が多いことで住んでいる人々が大変なことをイメージさせ、積雪量も多いし、人口も多いことに気付かせる。
5	<p>8 大きな学習問題を考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【大きな学習問題】 千葉県と比べて、寒い北海道の人々は、どのような工夫をして生活しているのだろうか。</p> </div>	<p>◆予想をもとに単元の学習問題を考えようとしている。 (ノート記述・発言)</p> <p style="text-align: right;">【態度】</p>

9 使用する資料・教材

【資料1】 都道府県魅力度ランキング

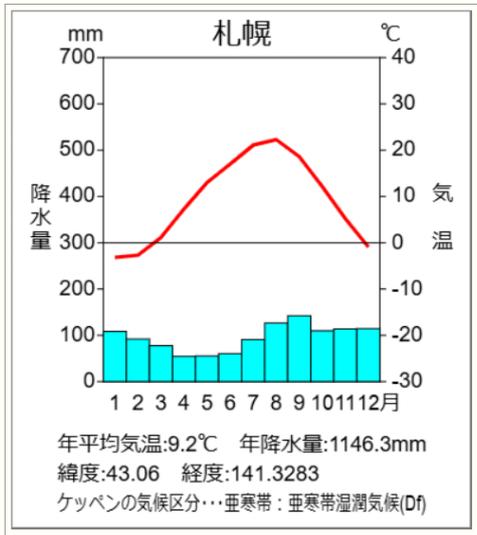
地域ブランド調査2024 都道府県魅力度ランキング

順位	都道府県名	魅力度(点)	順位	都道府県名	魅力度(点)				
2024	2023	2024	2023	2024	2023				
1	1	北海道	70.8	72.4	25	21	山梨県	24.3	24.5
2	2	東京都	55.6	56.6	26	18	熊本県	24.1	26.3
3	3	沖縄県	49.8	52.7	26	28	香川県	24.1	22.0
4	4	東京都	48.3	49.0	28	34	愛媛県	23.3	20.0
5	7	神奈川県	42.6	39.4	29	30	和歌山県	22.9	21.3
6	6	福岡県	42.0	40.4	30	26	新潟県	22.5	23.0
7	5	大阪府	38.3	43.3	31	38	福井県	21.9	18.4
8	13	長野県	34.9	31.9	32	35	岡山県	21.6	19.1
9	14	静岡県	34.6	30.6	33	31	山形県	21.4	21.1
10	9	石川県	33.9	33.4	34	39	岐阜県	21.2	18.3
11	14	兵庫県	33.3	30.6	35	29	岩手県	20.9	21.7
12	10	岩手県	32.8	32.3	36	32	高知県	20.5	20.9
13	11	宮城県	32.3	32.2	37	33	福島県	20.2	20.7
14	8	奈良県	31.1	37.2	38	37	島根県	19.4	18.5
15	12	千葉県	30.1	32.1	39	39	栃木県	19.2	18.3
16	17	広島県	30.0	26.5	40	36	滋賀県	19.1	19.0
17	19	鹿児島県	29.3	26.1	41	44	群馬県	18.6	16.3
18	22	秋田県	28.1	22.4	42	42	徳島県	18.0	16.6
19	22	富山県	26.7	23.8	43	43	山口県	17.3	16.6
20	16	愛知県	26.5	29.1	44	41	鳥取県	16.3	17.3
21	24	三重県	25.9	23.2	45	47	茨城県	16.0	13.7
22	20	青森県	25.8	25.2	46	45	埼玉県	15.2	15.8
23	25	大分県	25.4	23.1	47	46	佐賀県	14.9	13.8
24	23	宮城県	24.5	23.7			47	28.0	27.2

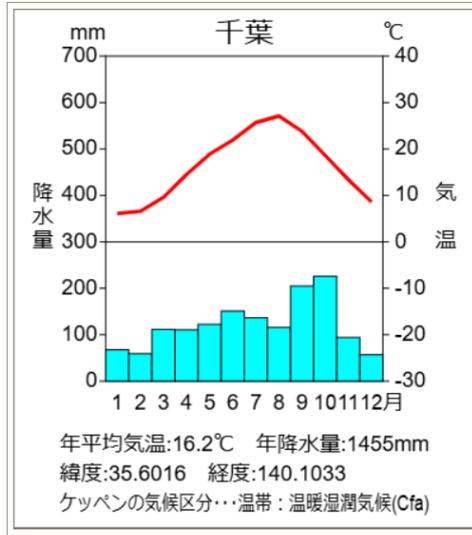
※「都道府県魅力度」は、地域ブランド調査2024

魅力度を、提示した地域名に対して「どの程度魅力的に思うか」と質問を行い、「とても魅力的」から「まったく魅力的でない」までの5段階評価で回答したものを、そのうち「とても魅力的」と「やや魅力的」と各地域を「魅力的」と回答した回答者割合のみを反映し、それぞれ選択肢に付与した点数(重み)を加重平均したものを、魅力度=100点×「とても魅力的」回答者割合 + 50点×「やや魅力的」回答者割合

【資料2】 札幌市(北海道)の雨温図



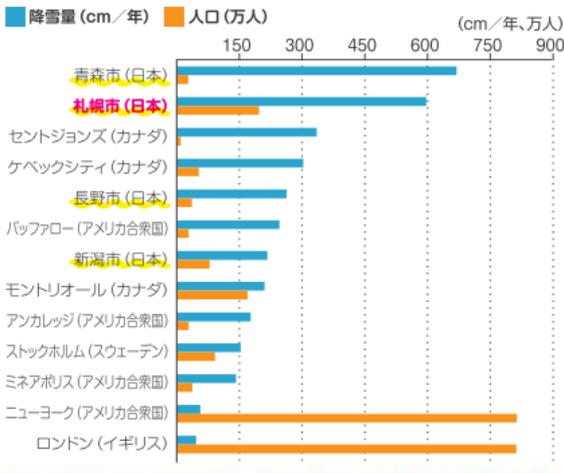
【資料3】 千葉市(千葉県)の雨温図



資料2・3は、[雨温図作成サイト](#)|[谷謙二研究室](#)|[埼玉大学教育学部人文地理学](#)で作成。
 ※ 本時には、緯度、経度、ケッペンの気候区分は、省略した形で取り扱う。

【資料4】 降雪量と人口の関係

【降雪量と人口】



[2020_雪NL_10月号_No.27_ver.04](#)(雪学習NEWS 札幌市教諭向けの冊子)より引用

※ 本時には、モントリオールからロンドンを省略した形で取り扱う。